



屋久島町立 一湊小学校

児童数 29人
学級数 5クラス



《テーマ》

人権の大切さを理解し、気付き、行動する子どもの育成

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究スケジュール
<p>学校教育目標の中に「人権」の大切さを掲げていること、子どもの人権感覚を磨き、人権意識を高めることで、よりよい仲間づくりやいじめの防止につながり、将来をたくましく生きる力になると考えた。また、定期的に実施する児童向けアンケートにおいて、人権意識に欠けた児童の実態が見られた。そこで、人権意識を高揚させていくことが大事だと考え、本テーマを設定した。</p>	<p>4月・9月の第1週…いじめ問題を考える週間の実施 （関連した授業の実施, アンケートの実施） 毎月第4月曜日…心の教育推進委員会の実施 学期1回…学校楽しいーと・SNSチェックシートの実施 （実態把握と個人による教育相談の実施） 5月14日（金）…校内研修 （いじめの未然防止に係る人権教育の推進） 11月15日（月）…人権感覚を高めるための提案授業 （5・6年複式学級において） 12月1日（水）～11日（土）…校内人権旬間の実施 12月3日（金）…人権学習会 （全児童参加, 保護者による授業参観）</p>

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- 「子どもの人権プロジェクト」を活用した校内研修や校内人権旬間の充実
- 年間を通した「人権感覚を高めるための授業」の実施や学習したことを基に、学習発表会での「創作人権劇」の発表（5・6年生）
- 「あすチャレ！ School」での車いすバスケットボール体験を通して、障がいや共生社会への理解
- 校内人権旬間についての啓発コーナー設置や人権に関する本のコーナー設置に向けての司書補との連携



【人権学習会】



【創作人権劇】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容, よかったこと, 今後やってみたいこと）

- 年間を通して「人権」を意識した学校生活になってきている。自分を大切にするように、周りの人々への言動も思いやりのあるものへと変化してきた。
- 12月の校内人権旬間での「人権学習会」を県人権同和教育課にお願いし、その学習活動を保護者にも参観していただいたことで、学校における人権学習の様子を伝えることができた。また、家庭においても「人権」について親子で語り合うきっかけとなった。
- 人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」や人権教育指導資料「仲間づくり」を計画的に継続して活用していくことで、子どもの人権感覚・人権意識を更に高めていきたい。